

## 駒ヶ根市議会 議会広報モニター会議で出された意見・感想

日 時：令和 7 年 10 月 25 日（土） 13 時 30 分～15 時

会 場：駒ヶ根市役所

グループ	議員	モニター
A	小原茂幸、今堀雷三、藤井邦彦、池田幸代	3 名
B	竹村誉、福澤美香、小原晃一、押田慶一	3 名
C	竹村知子、中山万宝、宮下稔、竹上陽子	3 名

### 1、議会だよりについて

- ・ アンケートに記載した改善点を次号で実施してくれている。とても対応が早いと思う。  
（弱視対応 赤→青、審査項目のカタカナ表記の解説、縦書き→横書きなど）
- ・ 議会だよりの審査（決算など）について、質問と回答しか載っていない。市民目線として、そのお金がどのように使われたのか。また議員はどのような判断基準でその使われ方について了承したのかが分からない。
- ・ 議会だよりの配布について、いつ配布されたのか分からない時がある。モニターの意見を取り入れ、これだけ改善されているのに見逃したらもったいない。もっと目立つように工夫した方が良いのではないか。
- ・ 市民からの意見コーナー（写真付き）があれば、自分の意見が掲載されればうれしいと思う。
- ・ 誰に見てもらいたいのかターゲットがわからない。興味のない人は見やすくても見ない。高校生にどうやって勧めればいいのかわからない。
- ・ 議員の写真が載るようになり、人となりがわかるようになって良い。
- ・ 決算ページについて、「▲▲施策に〇〇万円」と書いてあっても全国的にはどのくらいの位置づけなのか不明。駒ヶ根市がその施策に力を入れているのか、入れていないのかなどの基準がわからない。
- ・ 表紙について、写真は議員の思いが表現されていて地元愛を感じてとても良い。
- ・ 一般質問ページについて、質問後の手応えを 1 ～ 5 段階で★評価するとわかりやすいのでは。（★ 1 つは実現性がなさそう、きちんとした答弁をもらえなかった。★ 5 つは執行部に検討してもらえそう、など）ただ感想を書くだけでは学生レベルでしかないのでは。
- ・ 裏表紙の「感想をお寄せください」→どこに送ればいいのか分からない。QR コードをつければ良いのでは。読んでもらうきっかけにアンケート、感想を出すとプレゼントがもらえる等にすればどうか。
- ・ モニターの意見を参考に見直しがされている。
- ・ 見やすい市議会だよりである。
- ・ 今月号の表紙はゴチャゴチャしている。前号以前はすっきりしていた。

- ・ 今月号の表紙にある祭りは市にとって大切な行事。
- ・ 配布物（市報 議会だより等）は“ゴミを配っている”と感じる人いる、そこをどうしていくか。
- ・ 紙でないと読めない人もいる、公報は全員に配布が必要、ゴミにするか否かはその人次第。
- ・ 配布物はこれからどうしていくか。電子化も1つの方法。
- ・ 伊那市は市報に議会だよりが一緒になっている。
- ・ 定例会報告は読みづらい。もっと取舍選択をしたほうが良い。力を入れた議案や強調する議案、市民に関わりが深い議案など。
- ・ 賛否のある議案や否決された議案の内容は知りたい。
- ・ 定例会報告は文字が全体的に小さく情報量が多い。

## 2、議会活動について

- ・ 地区単位で良いので市民の声を聞く会を年1〜2回ぜひやってもらいたい。
- ・ 傍聴について、音声はひどい。
- ・ 一般質問について、詰めが甘い。お聞きしましたで終わらせない。市長個人の考えを引き出すような質問を。個人の1回に行う質問数を減らして内容をしっかりやるほうが良いのでは。
- ・ 市政懇談会をもっと頻繁に、年1・2回やってはどうか。議員から市民が集まる場所(区長会、区の役員会)に出て行くのが良いのでは。執行部が説明するより効果的なのではないか。
- ・ テーマを決めて懇談会をするとそのテーマだけになる。フリースタイルで話したほうがいい。
- ・ 市政懇談会単体ではなく、オープニング的にスポーツや取り組みの代表に選ばれた学生などの結果発表会・体験発表会を行い、そのまま市政懇談会へ移れば、その保護者・関係者も参加してくれるのでは。
- ・ 大勢の中で質問はしづらい。モニターを設置しチャット発言を表示して回答する方式を活用しては。YouTube、zoomのライブチャット機能を使用してはどうか。
- ・ 子育てイベント、文化祭などでブースを出しては→議会活動の「見える化」
- ・ 若い世代に意見を求めても「言っても反映されない」と諦めている(だから意見を言わない)。そのような意見を拾い上げ意見が反映した様子が見えたり、また反映されなくても議員や行政が実現に向けて行動を起こしているのを見れば変わるのではないか。
- ・ 再質問はよいが、もっと突込まないのか。議員が納得していないのではと思う。
- ・ 議論がない、議会が面白くない
- ・ 一貫して同じ質問をすべきと思う。質問項目が多い。毎回、広範囲にわたる質問項目で大変と思う。
- ・ 同じ質問でも深めていくことが良いと思う。
- ・ 議員はどのような立場でなっているか。もっと区と関わってほしい。関わる機会が多いほど現状も見てもらえ、相談もできる。

## 3、市政について

- ・ 菅の台では電波がつかない。飲食店ではLINEで順番待ちを奨励しているお店もあるが電波状況が悪く、上手く機能していないのではないかと感じる。

- ・ 市民課が暗い雰囲気、照明も職員ももっと明るくなるといい。総合案内があればよい。
- ・ ロープウェイのチケット、バスとセットではない単品売りや片道乗車券もスマホで買えるようにしてはどうか。山の上のチケット売場が非常に混み合う。
- ・ 菅の台のお土産屋さんは、どこでも売っているようなものしか見当たらない。ロープウェイ駅（上下）では、いろんなグッズが売っていたが行列で混み合っていたので下山して買えば良いかと思って菅の台まで降りたら買いたいものがなかった。
- ・ 駒ヶ根 IC の高速バス乗り場が夜は真っ暗で怖い。観光の窓口としてバス停を明るくして欲しい。できれば車がすれ違える道幅もあると良い。